

花粉症に漢方

春の風が鼻をくすぐる季節です。それは花粉の仕業かもしれません。

使用することが多い処方です。衛気が強くなることで、花粉症に限らず、体力や免疫力も付き、か

す。
鼻づまりや目のかゆみがあれば、鼻淵丸（びえんがん）や荊がい連翹湯（けいがいれんぎょうとう）もお勧めです。

中医学での花粉症治

ぜをひきにくくなった

また、ハーブティ

療の基本は、外的刺激に対抗するバリアの力「衛気（えいき）を強くすることだと考えます。

この衛気を強化する代表的な

処方「玉屏風散（ぎり、体温や発汗調節力が

よくへいふうさん）」上がります。

です。屏風（びょうぶ）また、更にくしゃみ鼻

のように風を遮断する水がひどければ、桂枝湯

作用からこの処方が（けいしとう）や小青竜

つきました。アレギ湯（しょうせいりゅうとう）

一物質の根本的改善に（う）を併せると効果的で



<第七話>

では、菊花茶、シジュウム茶、ミントティーもこの季節にはお勧め。

十分な睡眠と栄養をとり、お酒は控えめに

030801-227

<http://www.jinseido.co.jp>

co.jp